

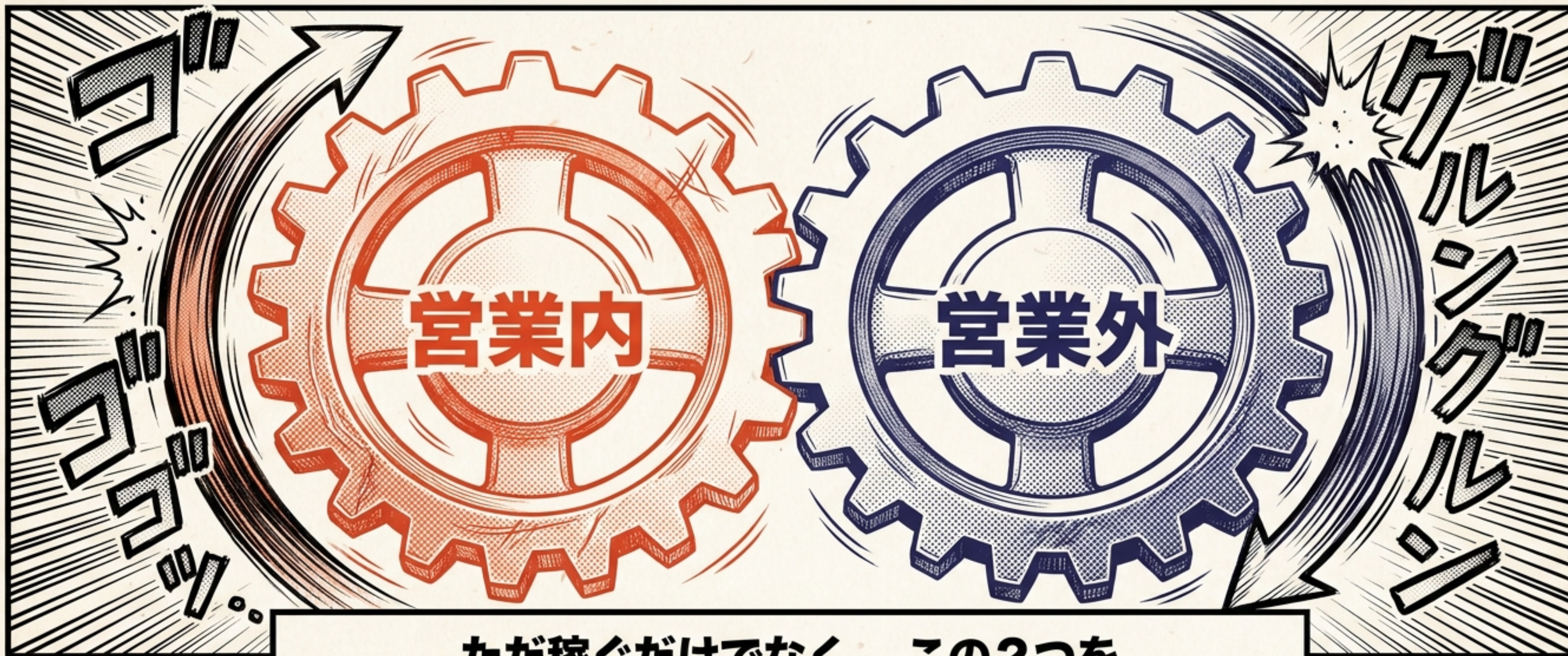
企業も人も、生き残るために何を見ているだろうか。

**とにかく
売上が一番だ！**

**いやいや、
残る利益が
すべてでしょ！**

**これからは
絶対に
投資の時代だ！**

しかし、何で稼いでいるかよりも、本当に重要なのは「どう回しているか」だ。



ただ稼ぐだけでなく、この2つを
「循環（じゅんかん）」させることがカギ になる。

まず1つ目は「営業内収益（えいぎょうないしゅうえき）」。



【商品】を作る/
【サービス】を提供する



お客さんの困りごとを
解決する(顧客価値)

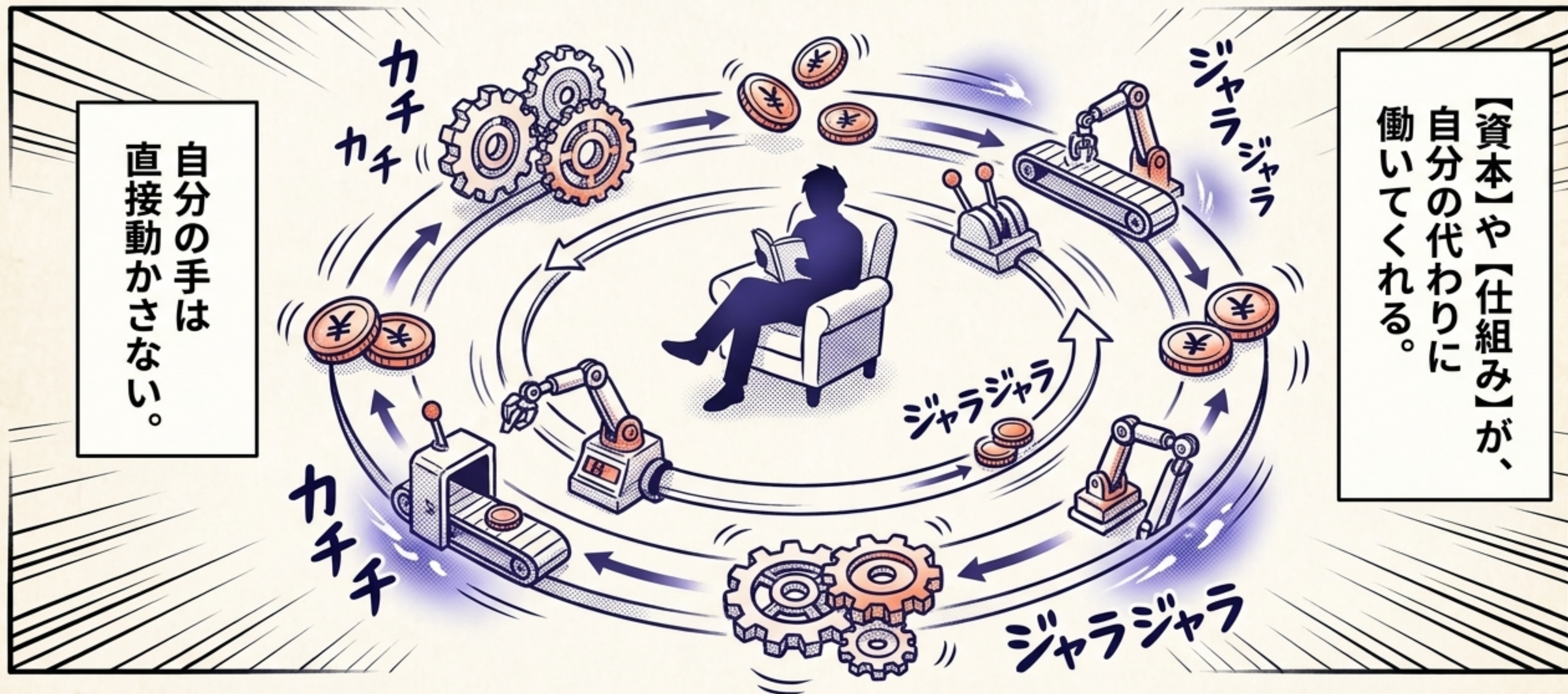


感謝され、その結果として
【収益】が流れてくる!

これは、もっとも純度の高い収益。自分自身の価値そのものだ。



2つ目は「営業外収益(えいぎょうがいしゅうえき)」。
配当、利息、投資、資産運用などだ。



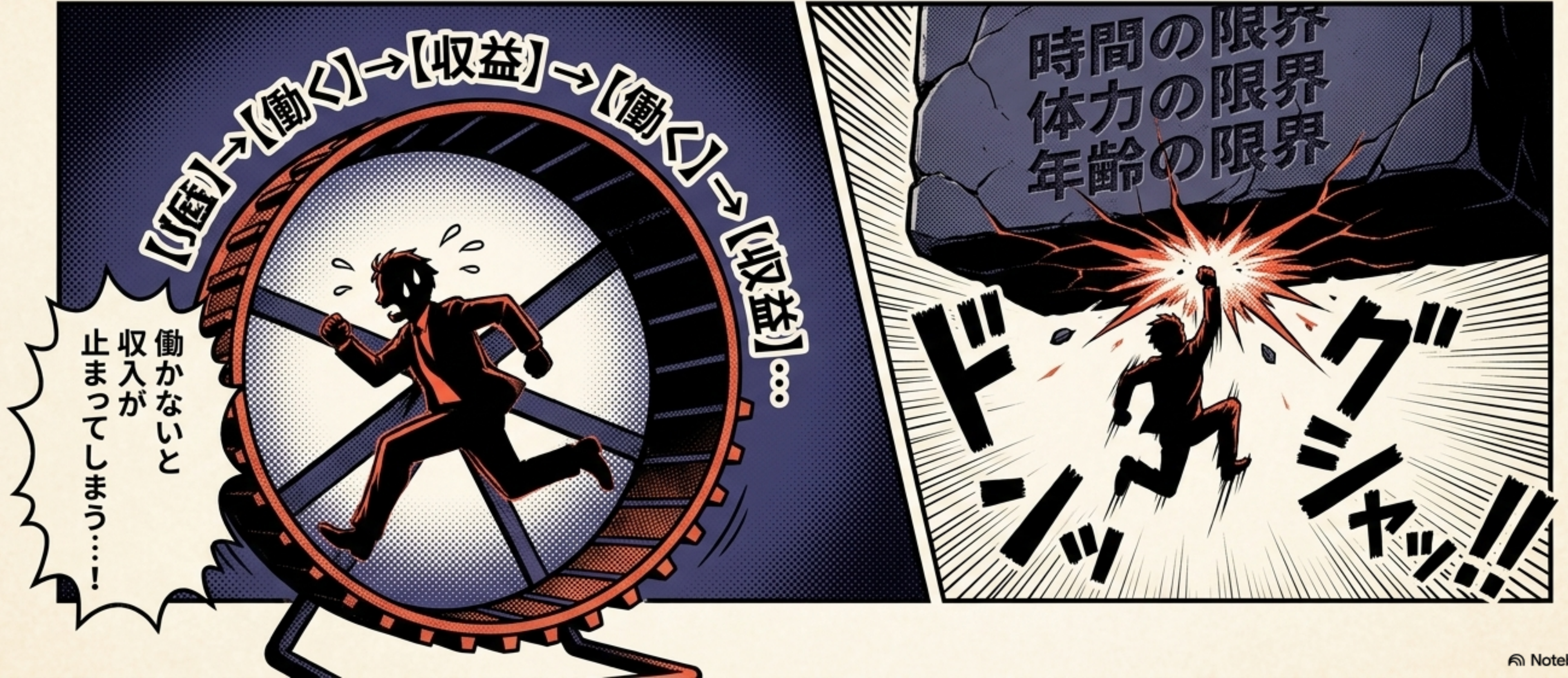
これは、時間を味方にし、自分以外の力を借りる技術。



【拡張力（かくちょうりょく）】

- 時間を味方にする。
- 仕組みに働いてもらう。
- 一人ではできない大きな力を生み出す。

営業内収益だけで生きる人は強い。しかし、「限界」も必ずやってくる。



逆に、投資だけで生きようとするのも危険だ。

投資だけの世界

「これは投資じゃない、
ただの運任せ(依存)だ!」

市場の変化

**価値創造力(自分で稼ぐ力)という土台を失うと、
市場が変わった時に何も残らない。**

2つの収益は、対立するものではない。「陽」と「陰」の関係だ。

【陽：営業】

創る
動く
切り開く

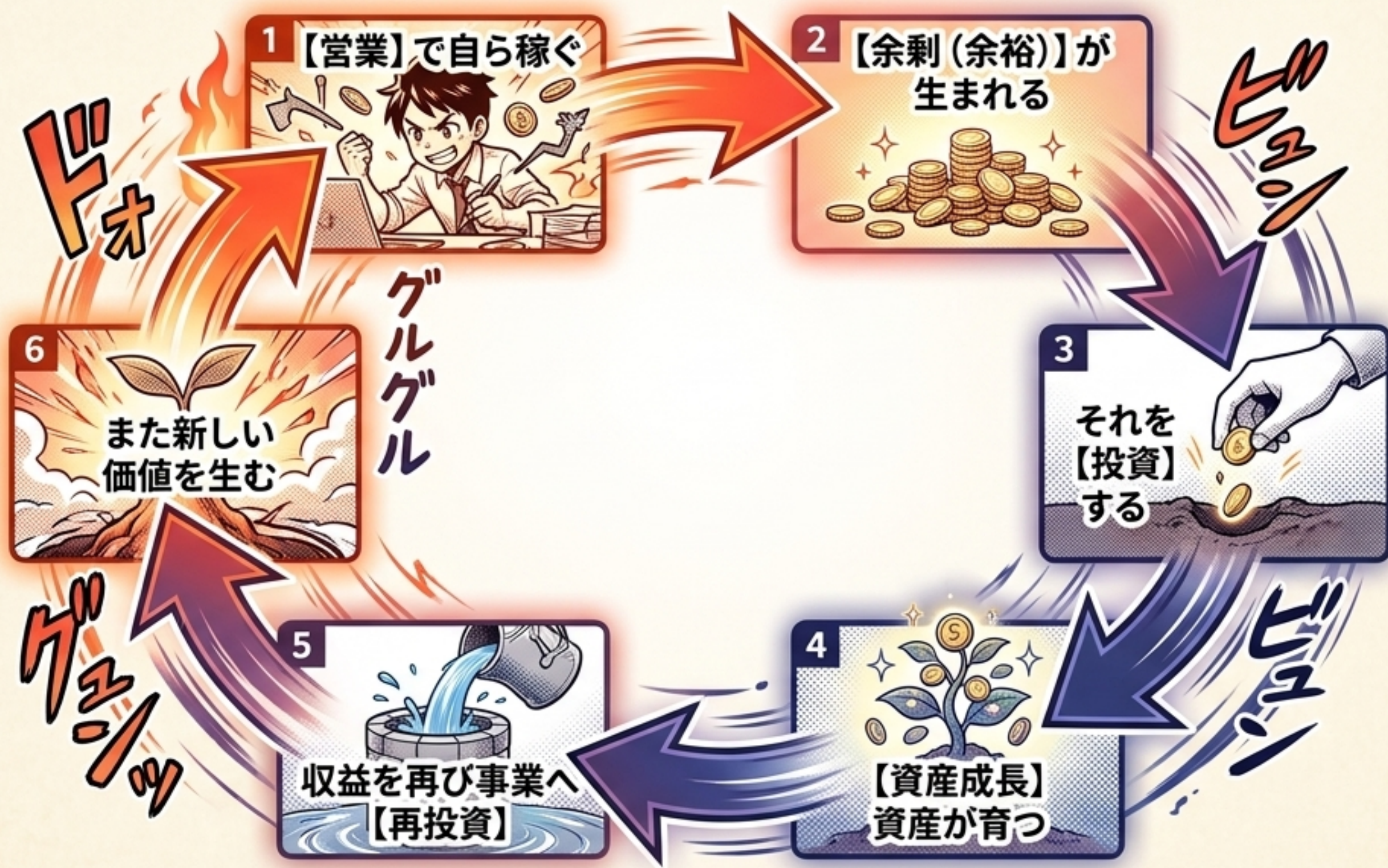


【陰：投資】

育てる
待つ
委ねる

陽だけでは燃え尽き、陰だけでは停滞する。

理想は、この2つがグルグルと回り続けること。
これが持続可能な成長だ。



これは会社でも、個人の生き方でも同じ構造だ。



自力だけでは小さすぎる。



他力(市場や他人)だけでは脆(もろ)い。



自力と他力が合わさった時、初めて大きな流れが生まれる。

ただし、忘れてはいけない。他者に委ねたとしても「責任」は手放せない。

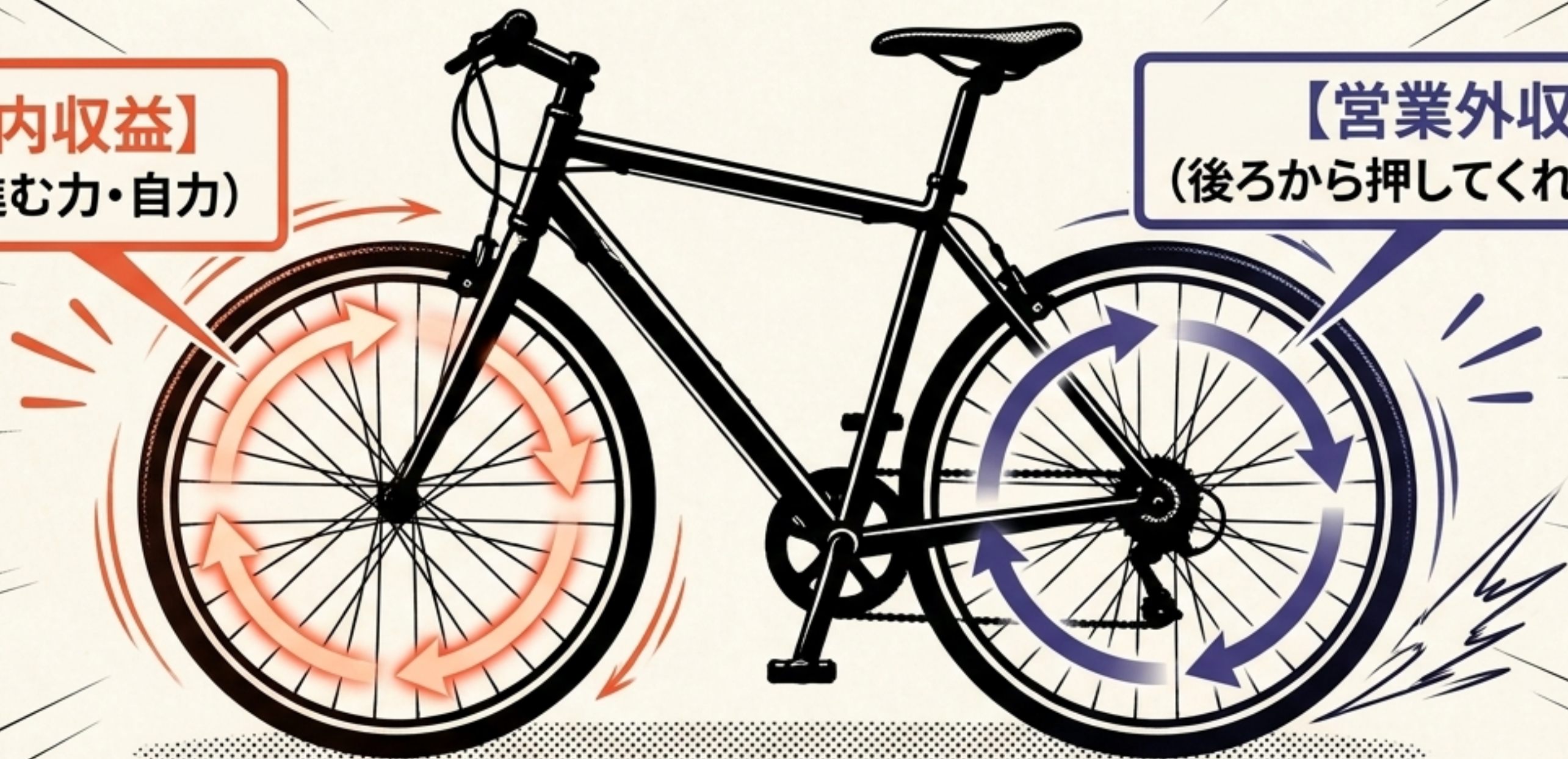


責任なき自由は存在しない。営業も投資も、最終責任は自分にある。

自分で稼ぐ力(土台)と、他者に任せる力(拡張)。
この2つは自転車の「両輪」だ。

【営業内収益】
(自分で進む力・自力)

【営業外収益】
(後ろから押してくれる力・他力)



土台なき拡張は崩れ、拡張なき土台は広がらない。

片輪だけでは遠くへは行けない。どちらかを選ぶのではなく、
どちらも使いこなすこと。

働くこと。委ねること。

行動すること。信頼すること。

自力と他力を統合しながら、この循環を回し続けよう。

それが、変化の時代を生き抜く生存戦略だ。

